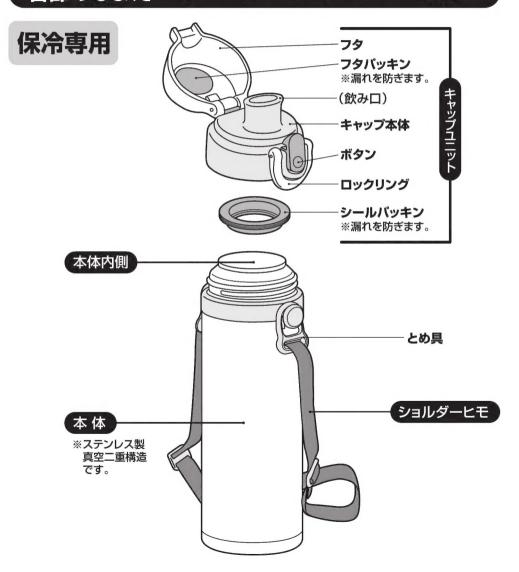
取扱説明書

品番: FEW-504S

重要

で使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 部品購入時に必要になりますので捨てずに保管してください。

各部のなまえ で使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



ご注意とお願い

で使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠警告

死亡、または重傷を負う恐れが ある内容を示しています。

⚠注意

軽傷、または物的損害を負う恐れが ある内容を示しています。

■図記号について

○禁止

してはいけない内容を表しています。

● 必ずおこなう

必ずお守りいただく内容を 表しています。

安全上の注意

♠ 警告

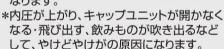
保護者の目の届かない ところで使用させないで ください。また乳幼児の いたずらには十分に注意 してください。



*取りはずした部品を誤飲して窒息する 原因になります。また、けがの原因になり ます。 ◇禁止

熱い飲みものは入れないでください。

*熱い飲みものが直接口内に 入るため、やけどの原因に なります。



○禁止

乳幼児・小学生のお子様は ショルダーヒモを首から かけずに肩からななめ 掛けしてください。

*ショルダーヒモが他の **く** ものに引っかかり、窒息や けがの原因になります。 **の 』**

必ずおこなう

ショルダーヒモをかけた状態で運動したり、遊んだりしないでください。

*ショルダーヒモが他のものに引っかかり、 窒息やけがの原因になります。 〇 禁止

注意

飲みものを入れる目的以外に使用しないでください。

*けがなどの原因になります。 ◇禁止

キャップユニットは2つの専用パッキンを 正しく取り付け、確実に閉めてください。 【 ■ 3 P.6】

*漏れてものを汚す原因になります。

の必ずおこなう

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

*やけどや変形・変色の原因になります。



○禁止

飲みものの量は図の位置までにして ください。

*入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、ものを汚す原因になります。



次のものは絶対に入れないでください。

●ドライアイス・炭酸飲料

*内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものが吹き出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

◆牛乳・乳飲料・果汁など 腐敗しやすいもの

*腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものが吹き出るなどして、けがやものを汚す原因になります。 〇 禁止

●お茶の葉・果肉

*すきまなどにつまり、漏れてものを汚す 原因になります。 ○禁止

飲みものは早めにお飲みください。 また飲みものを入れた状態で長く放置 しないでください。

*腐敗の原因になります。

*腐敗などによりガスが発生して内圧が 上がり、キャップユニットが開かなくなる・ 飛び出す、飲みものが吹き出るなどして、 けがやものを汚す原因になります。

○禁止

ショルダーヒモを持って振りまわしたり、強く引っぱったりしないでください。

ロックリングを持って運んだり、振りまわしたりしないでください。

*落としてけがの原因になります。 またロックリングの破損の原因になります。

○禁止

お手入れの際、次の点を必ず守って ください。

- ●煮沸はしないでください。
- ●食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
 - *熱により部品が変形し、漏れてものを 汚す原因になります。

 ◇禁止
- ●本体は水中に放置しないでください。

キャップユニットのフタを開けた状態でフタを持ってキャップユニットを開け閉めしないでください。

本体に飲みものを入れる際は、転倒に注意してください。

*飲みものがこぼれ、ものを汚す原因に なります。 **④**必ずおこなう

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

改造・分解・修理は絶対に しないでください。

*故障・事故の原因になります。



○禁止

大きな氷は押し込まずに小さくして から入れてください。

*変形して、漏れてものを汚す原因になります。 **④** 必ずおこなう

使用上のお願い

みそ汁・スープなど塩分を多く含んだ ものは入れないでください。

*本体内側は18-8ステンレスを使用していますが、塩分によりさびる原因になります。

お出かけ前に、製品を逆さにして 漏れのないことを確認してください。

*漏れた場合はP.9「こんなときは…」の 項目をお確かめください。 ① 必ずおこなう

バッグなどに入れる際は、万一の漏れを防ぐために製品を縦置きにしてください。また製品と貴重品(携帯電話・カメラ等)を一緒に入れないでください。

●必ずおこなう

製品の構造上、湿度が高いとき、 キャップユニットに水滴が付く(結露する) ことがありますのでご注意ください。

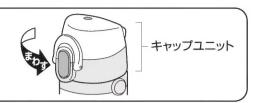
製品を持ち運ぶ際は、ロックリングを確実にロックしてください。

必ずおこなう

製品には必ず専用の部品を取り付けて ください。
● 必ずおこなう

↑ ↑ †

キャップユニットを矢印の方向にまわしてはずします。



2 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに、飲みものがあふれ出る原因になります。



本体に少量の冷水を入れ、 1分程度予冷すると保冷に 効果的です。



€ キャップユニットを閉める

フタを閉めた状態で、キャップユニットを 矢印の方向にまわして確実に閉めます。

※ロックリングがロックされていることを 確認してください。【■〒P.6 5】

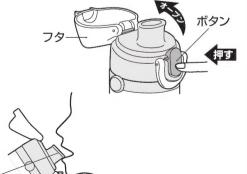


4 飲みものを飲む

①本体を立てた状態で、ロックリングを 矢印の方向に動かしてはずします。



③飲み口に口をつけて、ゆっくり 傾けながら飲みます。 ② ボタン下部 を押して、 フタを開けます。

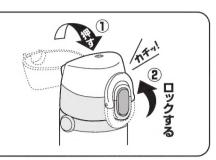


飲み口

を十分に洗ってください。

母 飲み終わったら

- ①本体を立てた状態にして、 フタを "カチッ" と音がする まで押して、確実に閉めます。
- ②ロックリングを矢印の方向に 動かし、確実にロックします。



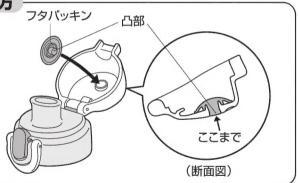
パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、 漏れの原因になります。

キャップユニットは2つの専用パッキンを正しく取り付け、確実に閉めてください。

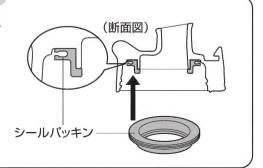
●フタパッキンの取り付け方

凸部の先端がフタの天面と 平らになるまで確実に押し 込みます。



2 シールパッキンの取り付け方

図の位置に全周にわたってはめ込みます。取り付けた後は、パッキンが 浮かないように指でまんべんなく 押します。



ショルダーヒモについて

取りはずす

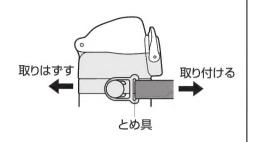
とめ具を図の向きにして、矢印の 方向へ押してはずします。

取り付ける

とめ具をはずすときと逆方向に "カチッ" と音がするまで差し込み ます。

長さを調節する

図を参考に長さを調節します。





お手入れ方法

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- ●ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分乾燥させてください。
- ●お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- ●汚れが落ちない場合は、下表に従って台所用漂白剤(目安:30分)を使用してください。
- ●長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名		洗い方	お手入れ方法
キャップ ユニット	フタ キャップ 本体	○流水洗い○つけ洗い○酸素系漂白剤※塩素系漂白剤	きれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。 お手入れの後は、2つのパッキンを確実に取り 付けてください。【『『アP.6】
	フタ パッキン シール パッキン	○流水洗い○つけ洗い○漂白剤	使用後すぐにフタ・キャップ本体から取りはずし、 きれいに洗い、十分乾燥させてください。
本体	内側	○流水洗い○つけ洗い○酸素系漂白剤(ボット用洗浄剤)★塩素系漂白剤	ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、十分乾燥 させてください。
			酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用する際、 キャップユニットは取り付けないでください。 ※本体の内圧が上がり、キャップユニットが飛び出す など危険です。
	外側	○流水洗い★ つけ洗い★ 漂白剤	ショルダーヒモを取りはずし、きれいに洗い、よく振って水を切り、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意 お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- ●煮沸はしないでください。
 - *熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。

○禁止

- ●食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
 - *熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。また塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。
- ◇禁止

- ●本体は水中に放置しないでください。
 - *すきまに水が浸入し、漏れてものを汚したり、さびや保冷不良の原因になったりします。
- ○禁止
- ●シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。*さびや傷などの原因になります。
- ●本体・キャップユニットは塩素系漂白剤を使用しないでください。
 *さびや保冷不良などの原因になります。またキャップユニットの故障の原因になります。
 ◇禁止
- ●本体外側は漂白剤を使用しないでください。
 *塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。

○禁止

不具合	原因	対処方法
	キャップユニットが 確実に閉まっていない	キャップユニットは確実に閉めてください。 【 ■ P.5 3 】
	フタが確実に閉まって いない	フタは確実に閉め、ロックリングも確実に ロックしてください。【 ■ ☞ P.5 ③ 、P.6 ⑤ 】
キャップ ユニット	飲みものを入れすぎて いる	飲みものは規定の量までにしてください。 【 ■ ☞ P.5❷ 】
から漏れた	パッキンがはずれて いる・確実に取り付け られていない	2つのパッキンは正しい位置に確実に取り 付けてください。【▲☞ P.6 ● ② 】
	パッキンが消耗している	別売の交換用部品を用意しております。 お買い上げの販売店またはお問い合わせ先 までご相談ください。【■☞ P.10】
	汚れが付着している	酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用 してください。【■☞ P.8】
本体内側が変色した	斑点状の赤いさびが 付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。 食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入 れ、約30分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものが 付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、キャップユニットを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。
保冷が 効かない	十分に冷たい飲みものを 入れていない	冷たい飲みものを入れてください。また、 あらかじめ本体内側を予冷しておくと効果 的です。
	飲みものの量が少ない	氷や飲みものの量を多くすると効果的です。
異臭がする	本体内側やキャップ ユニットに汚れが付着 している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。 異臭が取れない場合は酸素系漂白剤または ポット用洗浄剤を使用してください。 【■☞ P.8】
パッキンが 変色した	汚れ・カビが付着して いる	漂白剤を使用してください。【■② P.8】 汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の 交換用部品をお買い求めください。 【■③ P.10】

[◆]上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先にご相談ください。【■③P.10】

仕様

	部品名	材料の種類
+ /+	内側	ステンレス鋼
本体	外側	ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)
.	フタ・キャップ本体・ボタン	ポリプロピレン
キャップ ユニット	ロックリング	ポリアセタール
2-21	フタパッキン・シールパッキン	シリコン

保冷効力:10度以下(6時間)

交換用部品のご案内

品番	交換用部品名	メーカー希望小売価格(注)
	FEWフタパッキン	105円(本体価格100円)
	FEWシールパッキン	105円(本体価格100円)
FEW-504S	FEWパッキンセット※1	210円(本体価格200円)
	FEWキャップユニット※2	735円(本体価格700円)
	FEWショルダーヒモ	315円(本体価格300円)

- ◆交換用部品のキャップ ユニット、ショルダーヒモ につきましては男児用と 女児用それぞれ1色の ご用意になります。 お買い上げいただいた 商品と同色でのご用意 ができない場合がござ います。ご了承ください。
- ※1 FEWパッキンセット(フタパッキン・シールパッキン各1個)
- ※2 FEWキャップユニット(パッキン付き)

(注:消費税率の変更があった場合は、メーカー希望小売価格が変更になります。)

上記交換用部品につきましては、お近くのサンリオ商品取扱店におきましても取り寄せができますので、お問い合わせください。なお、お電話にてご注文を承ります時は、別途送料はお客様の負担となりますことをあらかじめご了承ください。

品質管理には細心の注意を払っておりますが、万一製品に 不具合がございましたら、お買い上げいただきました販売店 または、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

発売元 株式会社サンリオ

製造元サーモス株式会社

商品に関するお問い合わせ先

〒141-8603 東京都品川区大崎1-11-1

03-3779-8148 受付時間:10時~17時(十日祝日を除く)

http://www.sanrio.co.jp/